

昭和57年
10月号

広 報

おおす

No.320

昭和57年10月1日発行

発行 大 洲 市

編集：市長公室

市民のうごき

	昭和57年8月末現在	
人 口	39,726人	(+46)
男	18,959人	(+24)
女	20,767人	(+22)
世帯数	12,190世帯	(-4)
面 積	240.93平方キロメートル	



台風13号猛威をふるう 西大洲・阿蔵などに被害

8月27日、大型台風13号は大洲市にとって最悪のコースを取り、市内各地に大きな被害をもたらしました。

26日からの雨や上流部に降った雨のため市内各地で田、畑が約 450ヘクタールも冠

一面の海と化した西大洲・阿蔵地区。中央に白く見えるのが、国道197号線のガードレール。

水した他、床上浸水26戸、床下浸水65戸にも及び多大の被害を出しました。西大洲、阿蔵、徳森、菅田、八多喜の各地区で被害が出た他、国道197号線が鉄砲町、西大洲で冠水のため通行止になりました。

被害を受けられたみなさんにお見舞申し上げます。

今月の納税

▶市 県 民 税(第3期)
▶国民健康保険税(第3期)

納期
10月30日

市庁舎建設費を中心に

総額7億5千万円を補正

9月定例市議会

第一七二回定例市議会は、八月二十日から二十日までの九日間の会期で開かれました。今回の議会では、昭和五十七年度補正予算案三件、条例関係三件、その他七件の計十三議案、請願四件、陳情三件が提出されました。議案については、決算認定を除いてそれぞれ原案のとおり可決されました。

開会にあたり近田市長は、提案理由の説明を次のように行いました。

「国・地方を通じて行政改革は、現在の最重要課題です。

私は、このような厳しい変革の時代にこそ、新たな選択のもとに市政を見直し健全財政を基本として施策の重点的実施とその効率化に徹し着実に市政を推進してまい



提案理由を説明する近田市長

補正予算の概要

今回の補正額は、一般会計七億

庁舎建設費

本年度分として

四億五千七百万円

今回、七億二千百万円を補正し一般会計の予算総額は九十億五千八十七万円となりました。昨年同期と比べ四億五百九十四万円(四・七%)の増となっています。

補正予算の主な内容は――

総務費では、庁舎建設事業の本年度分として四億五千七十八万円。民生費では、地域改善対策特別事業費として一億六千七百六十六万円。内容は、道路舗装事業で二軒茶屋など六地区で実施します。

農林水産業費では、農業振興費として、転作促進を図るための麦・大豆生産総合振興対策事業補助金に四百三十七万円。

農林水産地域改善対策事業を上須戒打越地区で実施します。内容は、農機具格納庫(九十一平方尺)

を設置し、農機具の共同利用を図り、農地の有効利用を促進するものです。事業費は一千三百三十三万円です。

農林業地域改善対策事業で実施する菅田上東農道整備事業に一千八百三十七万円。

林業振興費として、間伐促進総合対策事業に八百七十三万円。本年度は、柳沢田処、上須戒打越・西峰、南久米、新谷、蔵川地区六十%で実施します。

土木費では、道路維持費として市道舗装補修費に三百万円、道路維持原材料費に二百万円。また、崖崩れ防災対策事業(五郎天神様前)に百五十万円。

消防費では、消防施設費として八多喜伊州子地区の防火水槽建設費に二百五十万円。

教育費では、地方スポーツ振興事業費に百万円。また、南久米小、南中の防球ネット事業費にそれぞれ八十万円。

庁舎建設事業

市庁舎建設は、計画どおり進展しています。この事業は、大洲市庁舎整備審議会、大洲市庁舎建設委員会の答申に添い、行政の効率

的運用と、市の中心にふさわしい行政文化施設として、後世に誇り得る庁舎を建設すべく十分に配慮し、積極的に取り組んでまいります。

建設は、昭和五十七、八年度の

二か年で建設いたします。規模は、鉄骨鉄筋コンクリート造で地下二階地上五階、延面積は六千二百九十五平方尺です。

総事業費は、駐車場を含めて十四億五千万円を予定しています。このための財源は、起債七億二千二百二十万円、財政調整基金繰入金六億円、一般財源一億二千七百八十万円を予定しています。建設に要する一般財源につきましては、行政の合理化、効率化を図り、財政の健全化に努力いたします。

本年度事業費としては、五億五千六百五十六万円を計上しています。内、庁舎建設事業費は、四億五千七百八十八万円です。引き続き、明年度、残事業を当初予算に計上し、昭和五十九年三月に完成を予定しています。

また、現庁舎は、九月中旬より取りこわしにかけ、その後、十月中旬より庁舎建設に着手します。

条例関係

大洲市営住宅管理条例の一部改正 公営住宅法施行令などの一部改正に伴い、条例の一部改正を行います。入居条件などが一部改正になりました。

大洲市水道使用条例の一部改正 公認業者の登録制度の拡充および技能士の資質の向上を図るために条例の一部改正を行います。給水工事の手数料の改正を行います。

わたしの百人委員会

① = 百人委員会レポート = ①

会場にあふれる熱気

好評のうちに2回3回



熱心に聴講する参加者たち

大洲市の未来像を模索するために市民の英知を集めようと七月八日にスタートした「大洲市を考える百人委員会」は、第二回が八月二十五日、第三回が九月四日にそれぞれ大洲市農協において開かれました。いずれの委員会も、大洲市のこれからの姿を考え、豊かな未来を造り出そうとする意欲に燃える参加者の熱気が会場にあふれていました。

① 三回出席し聴講させてもらい感じることは、非常にいい企画であり、毎回胸の高なりを覚え参加しています。各先生のお話は、有益であり、一言一句納得のいくことばかりで、いい勉強をさせていただいています。委員の一人として、

焦点を絞っては



柚木菅野 満也(50歳)

「大洲市を考える百人委員会」も始めた限りにおいては、成果が残るような形にもっていきたいものと思えます。今現在の印象としては、学習が

第二回 (8・25)

百人委員会委員長に

新谷の袖岡光徳氏

八月二十五日に開かれた第二回百人委員会は、委員約百人が参加し、「商店街の魅力づくり」について話し合いました。

同日はまず、委員が十班に分かれそれぞれ班長、副班長、書記を選出し、その後、委員会全体の会長、副会長を選びました。

続いて、地域総合計画研究所長森戸哲氏の「新しいまちづくりと商店街の魅力づくり」と題した講演を聴講しました。

森戸氏は講演で、「まちづくりをどう考えるか」「地域の生産力を充実させるにはどうすればよいか」「快適な環境づくりはどのように進めるべきか」「商店街の魅力づくり」などのように取組むべきか「まちづくりの担い手はどのようにして生まれてくるのか」などのテーマ

広範囲になり過ぎてるように感じます。もう少し焦点を絞って学習したいように思います。そして農業サイドに片寄ることなく、大洲市全体の産業のあり方について、職能別の意見、展望を集約するような形にもっていくべきではないでしょうか。

これから二年間にわたって続けられる百人委員会に大いに期待を寄せています。

で他の都市の例を引きながら、大洲の魅力また大洲に欠けているものなどについて指摘がありました。講演の後、班別で大洲の商店街のあるべき方向などについて意見交換を行いました。

委員会役員は次のとおりです。

▼会長 袖岡光徳(新谷)

▼副会長 榎田与一(若宮)

班別(上・班長、下・副班長)

一班 玉木宗三郎 白石成子

二班 大野豊 安岡秀峰

三班 袖岡光徳 吉岡悦子

四班 中野忠重 村田照

五班 上田喜重 古森達夫

六班 菊池宗利 田村武四郎

七班 梶谷甚吾 白数義雄

八班 榎田与一 久保勝

(三・四班は未定)

第三回 (9・4)

農業の置かれている現状

九月四日に開かれた第三回百人委員会は、委員など百五十人が参加し、農業の置かれている現状について学びました。

まずNHK解説委員・加倉井弘氏が「農産物自由化と日本農業の将来」と題して講演しました。

加倉井氏は講演で、「食糧自給率の低い日本農業の現状は、決して楽観できるものでなく、これから政府の政治力などによって左右されるだろう」と述べました。

また、愛媛大学教授・堀田忠夫氏は、「農産物の生産および流通のあり方と今後の地域農業の方向」

と題して講演を行い、この中で、「地域で採るべき農業の発展的方

第四回

大洲市を考える

百人委員会

テーマ 大洲の「光」を「観」

日時 10月12日(火)

13時半

講師 猪爪範子氏(地域総合計画研究所)

10月10日

市民運動会

そろって参加しましょう

体育の日の十月十日に、今年も「市民運動会」を運動公園で実施いたします。

スポーツの秋、一日を家族そろって運動公園で市民のスポーツの祭典をお楽しみください。

競技は、例年のとおり十二地区に分かれて行います。日頃きたえた体力を十分に発揮してください。

日時 十月十日 九時

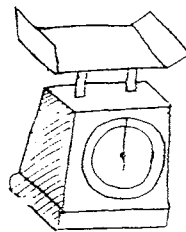
(雨天の場合は十七日に延期)

場所 八幡浜・大洲地区運動公園

陸上競技場

はかりの定期検査

10月12日～22日



計量器の定期検査を表の日程で実施します。

商品の取引に使用されるはかりは、必ず検査を受けてください。

検査を受けていないはかりは、商品の取引に使用すると法律により五万円以下の罰金に処せられます。

検査には、手数料が必要ですが、当日持参してください。料金は次のとおりです。

- 棒はかり 百円～二百円
- 台はかり 二百五十円、六百五十円

はかりの定期検査日程表

月日、曜日	時 間	場 所
10月12日(火)	11時～12時	南久米連絡所
〃	13時半～15時	平野連絡所
10月13日(水)	10時半～11時半	三善連絡所
〃	13時～15時	菅田連絡所
10月14日(木)	10時～11時半	柳沢連絡所
〃	13時～14時	田処公民館
10月15日(金)	10時～11時半	大川連絡所
〃	13時～14時	蔵川中学校
10月18日(月)	11時～15時	新谷連絡所
10月19日(火)	10時半～11時半	上須戒連絡所
〃	13時～15時	八多喜連絡所
10月20日(水)	10時～16時	大洲市保健センター
10月21日(木)	9時～12時	大洲市社会教育センター
〃	13時半～16時	大洲市民会館
10月22日(金)	9時半～14時	〃

● 皿はかり 三百五十円位
 ● 指示はかり 二百円～六百円
 なお、光電式のはかりをご使用

のかたは、訪問検査を行いますので、検査前日までに商工観光課までお申し出ください。
 詳しくは、商工観光課までお問い合わせください。
 ☎④2111内線225

九月から高額療養費の自己負担額を引き上げ

九月一日から、高額療養費の自己負担限度額が引き上げられることになりました。

今まで、私たちがお医者さんにかかったとき、医療費の自己負担分として、一人、一か月(一つの病院、診療所に)三万九千円以上を支払った場合は、三万九千円を超えた分は全額、国民健康保険から払いもどされてきました。

九月一日から、この自己負担分の限度額が四万五千円に引き上げられます。つまり、これまで、医療費の自己負担は、最高一か月三万九千円ですんでいたのが、これから、四万五千円になります。ただし、住民税非課税世帯は、三万九千円にすえ置かれます。また、昭和五十八年一月からは、五千円に引き上げられます。

高額療養費とは、私たちが病気がケガをしたときに保険医療機関で国保を使い診療を受ける場合の医療費は、七割を国保が負担し、自己負担は三割です。

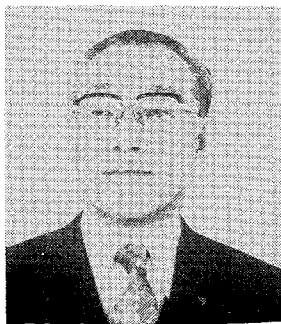
さらにその三割の自己負担が一定限度を超えた場合、超えた分は全額、高額療養費として国保から払いもどされることとなります。

詳しくは、保険衛生課保険係まで。
 ☎④2111内線227



榎山 健三さん (東京・74歳)

私財を投じ 教育振興会 設立



大洲市内の公立の教育施設を充実にさせようと、大洲市出身の榎山健三さんが私財を投じて、榎山教育振興会を昨年の三月に設立しました。

就任。同三十二年、同社代表取締役社長に就任しました。
 若くして郷里大洲を離れ、その後訪れる機会も多くなかった榎山さんは、「以前から郷土のために何か役立ちたいと考えていました。このような形で、郷土の教育振興に役立てることは、私にとってこれに過ぎる喜びはございません」と語っていました。
 財団は県下でも例がなく、運営資金は、国際航業(株)の株式八十万株、現金三千万円、寄附金などを合わせて二億七千万円を原資としてその配当金預金利子をもってあてられます。

榎山さんは、東山根の出身で県立大洲中学校(現大洲高等学校)を昭和二年に卒業、昭和五年山口高等商業学校を卒業しました。同七年、ブリジストンタイヤに入社。同二十九年、国際航業(株)取締役に

犬はつないで飼おう



十月は、「犬の危害防止対策推進月間」です。犬を飼っている人は、次のことを守って正しく飼いましう。

- 犬は必ずつないで飼いましう。
 - 犬を捨てないようになしましう。
 - 不要な犬は買い上げますので、市保険衛生課までご連絡ください。
 - 畜犬登録と狂犬病予防注射を必ず受けるようになしましう。
- 市保険衛生課衛生係
 ☎④2111内線228

就業構造 基本調査

10月1日

ご協力ください



十月一日ごろに、全国で「就業構造基本調査」が行われます。調査の対象となったご家庭には調査員が伺いますので、ご協力をお願いします。

この調査は、これまでほぼ三年ごとに行われており、皆さんの仕事の内容や仕事に対する意識などについてお尋ねするものです。調査で得られたデータは、国や地方の雇用に関する政策をはじめ、皆さんの生活にかかわる政策のための基礎資料として活用されます。

なお、調査員や調査関係者が調査で知った個人や世帯の秘密を漏らすことは法律で禁じられていますので、ありのままを調査票に記入してください。

今回、大洲市では十五の調査区が対象になります。対象地区は次

のとおりです。

調査対象地区

- 1、堀の内一区、新町三
 - 2、駅前、常磐町六の二
 - 3、上地藏東
 - 4、上地藏西、常磐町一区、二区
 - 5、常磐町一区、二区、上山根
 - 6、只越、古久米武田
 - 7、五郎五区
 - 8、天満、中ヶ市
 - 9、徳森（小鳥越、土肥）
 - 10、大洲九区（比地町）
 - 11、下松尾
 - 12、八多喜本村、中場
 - 13、八多喜新町下、中
 - 14、深部下（深部、大谷、田辺）
 - 15、新谷町三番、四番
- 詳しくは、市総務財政課文書統計係まで。
☎④2111内線208

共同募金運動

やさしさを隣人に あなたの胸に赤い羽根を！



と、赤い羽根が、やさしさを、ひとりの心に、ひとりの心へ、一人ひとりの助けになります。

十月一日から、赤い羽根の共同募金運動が始まります。たすけあいの心——お互いに困

つたときは助けあい、住みよい地域社会をつくるための活動に進んで参加しよう——という一人ひと

今年度は、昭和二十二年産声を上げた共同募金運動の三十五周年に当たります。これを記念して、老人と障害者の生きがい対策のための全国共通特別配布が行われます。

大洲市共同募金会

同和教育

No.49

みんなのしあわせを願って

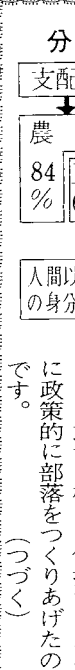
⑤ 部落のおこり

戦国時代は下剋上といわれた時代で、それまでの階級や身分はほとんどくずれてしまい、氏も素姓もわからないものが領主となり、知恵と才覚と力量があればだれでも大名となる乱世でした。

この時代を背景にして、足軽の子の秀吉や三河の小土豪の出であった家康が天下をとることができました。いったん自分が天下をとると、自分と同じように成り上ってくる者が出てこない新しい社会の仕組みをつくる必要がなくなりました。

秀吉は、検地と刀狩によって武士と農民・町人を分離する政策を行いました。江戸時代になると、さらにこの政策がおしすすめられ、家柄や格式・社会的地位をはっきりと固定して、武士の地位を不動のものにするための身分制度がつくられました。

当時、武士はきわだつて高い身分とされ、そのくらは、農民がおさめる年貢によって支えられて



そして、揺らぐたびに、差別を強化しました。このように身分・職業・居住地の三位一体の差別により、ひとにぎりの武士が権力を保持するために政策的に部落をつくりあげたのです。(つづく)

市民の市場



婦人労働旬間
10月21日～31日

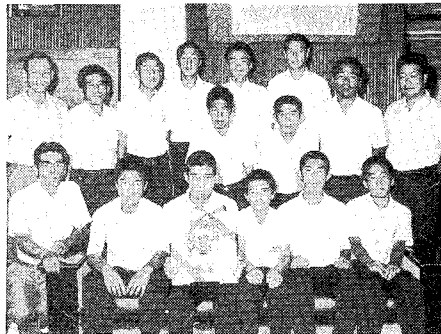
八月二十一日から松山市で行われた第十三回全国中学サッカー大会に、新谷中は四国代表として出場しました。

二十一日の一回戦では、福島の小名浜二中と対戦し、前半2点を先取されましたが、前半一点、後半に二点を入れ逆転勝ちしました。二十二日の二回戦では、千葉の宮本中と対戦し、三対〇と快勝しました。この試合で三年の古川保が一試合で三得点をあげることに達成しました。

二十三日の準々決勝では、岡山の守野中とベスト4進出をかけて対戦しましたが、善戦むなしく四対一と敗れました。

地元新谷からは連日二百人を超える応援団が会場に行き、新谷中イレブンの健闘にさかんな拍手や声援を送っていました。

新谷中サッカー一部健闘 全国大会で ベスト8まで進出



全国中学サッカー大会でベスト8まで進出した新谷中イレブン。

11月11日 中央公民館で 心身障害児の 教育相談

子供がすこやかに生まれ育っていくことは、親としての願いです。しかし、いろいろな原因で、障害を持った子供が生まれたり、健康で生まれた子供が成長の途中で障害を持つことがあります。

このような子供さんを持ったご両親は、いろいろと悩みを持たれていることと思います。

県・市では、このような子供や保護者を対象に就学、養育などについて県の専門の先生による相談会を実施します。

相談日・時間

11月11日 9時30分～15時

会場 大洲市中央公民館

申し込みは、教育委員会学校教育課か最寄りの小中学校へ。

教育委員会 ☎④7116

新刊図書案内

愛媛香川のわらべ歌

岩井正浩・他著

やさしいコンピュータ

竹内均著

男は20代に何をなすべきか

鈴木健一著

新渡戸稲造物語

堀内正己著

さあ、人間の出番だ都留重人著

三ツ

ミイ時代のアメリカ佐藤隆三著

二著

国家公務員試験受験ガイド

日本人事行政研究所編

すばらしい朝を抱いて

松井一恵・他著

保育社の原色図鑑(植物編23冊)

原色日本植物図鑑1～5

帰化植物図鑑

高山植物図鑑

薬用植物図鑑 他

新思潮社

図説看護の基礎

永田宏二作

接着のはなし

日本規格協会

JIS総目録

田村照一作

おはなし品質管理

白川義員山岳写真全集1小学館

城ヶ島の雨

末永文子著

晩香坂の愛

工藤美代子他著

赤い猫

仁木悦子著

夢のソナチネ

清岡卓行著

ひこばえの歌

山下惣一著

冬祭り

泰恒平著

序章

今井公雄著

炎熱商人

深田祐介著

戦国孤影

笹沢左保著

炎のランナー

W.J. ウェザビー著

秋の読書週間

10/9～10/27 図書館

奥さん 訪問

No.16

栗・しいたけなどの 特産物が欲しいですね

平野・本谷日
成見サダ子(42歳)

▼鹿児島県阿久根市の出身です。熊本県境に近い市です。天気の良い日には、天草の島々を見ることが出来ます。

▼主人(康男さん)とは、姫路の職場で知りあい、昭和三十九年に姫路で結婚しました。昭和四十二

年に大洲に帰ってきました。

▼子供は、長男の隆樹(高二)と長女の知佐子(小二)の二人です。

▼大洲の第一印象は、ずいぶんいいねいな言葉を使う所だということです。例えば「おたべや」とか「おしなや」という言葉です。

▼気候的には、過ごしやすいですね。また、山に囲まれており、親しみやすい地域ですね。

▼大洲は栗とかしいたけという特産物があるのに、その加工品がななく少しおしい気がします。

▼楽しみは、時間をみつつけてペーパーフラワーを作ることです。

▼主人は、仕事から留守がちですが、家において欲しいですね。▼家族そろって、旅行を試みてみたいですね。



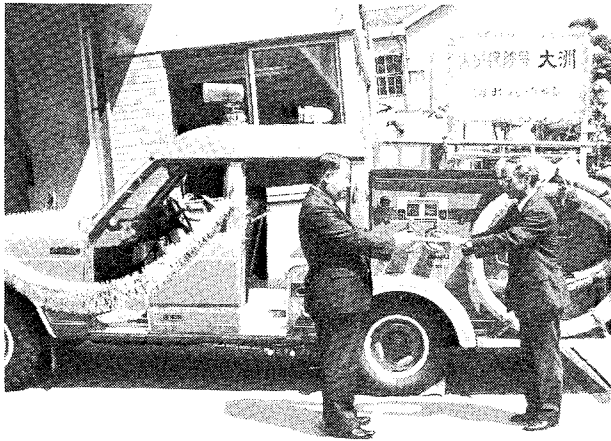
長女の知佐子さん。

秋の読書週間 10/9～10/27 図書館

愛媛香川のわらべ歌	岩井正浩・他著
やさしいコンピュータ	竹内均著
男は20代に何をなすべきか	鈴木健一著
新渡戸稲造物語	堀内正己著
さあ、人間の出番だ都留重人著	三ツ
ミイ時代のアメリカ佐藤隆三著	二著
国家公務員試験受験ガイド	日本人事行政研究所編
すばらしい朝を抱いて	松井一恵・他著
保育社の原色図鑑(植物編23冊)	原色日本植物図鑑1～5
帰化植物図鑑	高山植物図鑑
薬用植物図鑑	他
図説看護の基礎	新思潮社
接着のはなし	永田宏二作
JIS総目録	日本規格協会
おはなし品質管理	田村照一作
白川義員山岳写真全集1小学館	
城ヶ島の雨	末永文子著
晩香坂の愛	工藤美代子他著
赤い猫	仁木悦子著
夢のソナチネ	清岡卓行著
ひこばえの歌	山下惣一著
冬祭り	泰恒平著
序章	今井公雄著
炎熱商人	深田祐介著
戦国孤影	笹沢左保著
炎のランナー	W.J. ウェザビー著

▼大洲広域消防に 最新鋭のポンプ車贈られる

8月31日、消防活動に役立てて下さい——と、日本損害保険協会から、大洲地区広域消防組合に、最新鋭のポンプ車が寄贈されました。この車は、4輪駆動で4本のホースにより、毎分2,800リットルの放水が可能です。車は、「火災保険号「大洲」と命名されました。



▲「いもたき」始まる

水郷大洲初秋の風物詩「いもたき」が8月下旬より肱川河原で始まりました。300年の伝統を誇る大洲のいもたきに、市内から、また県内外から多数の人が訪れ、名月を楽しみながら名物の「いも」に舌つづみを打っていました。

▼雨の中五十四kmを完歩
ボーイスカウト大洲第一団
県庁から大洲駅までの五十四kmを十七時間かかって、二十二人のボーイスカウト隊員が完歩しました。
七月十日午後六時半、県庁前をスタートした隊員は、途中雨にあいながらも、翌日午前十一時半に大洲駅に到着しました。成岡英樹君（喜多小五）などの隊員は、完歩した満足感で疲れも忘れていました。



▲合唱、郷土芸能で交流 合唱まつり、地域文化祭

8月8日、市民会館大ホールで第34回合唱まつり、地域文化祭が開かれ、500人あまりの観客でにぎわいました。この大会は、大洲市、八幡浜市喜多郡、東宇和郡、西宇和郡の2市3郡が歌や郷土芸能を通じて交流しようと開かれたものです。合唱16グループ100人、地域文化祭には12グループ200人が参加し、交流を深めていました。

新・増築家屋の調査

9月中旬～1月中旬

固定資産税係より

9月中旬から、新築または増築された家屋について、固定資産評価のために実地調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、滅失（とりこわし）家屋の調査もあわせて行いますので、該当家屋のある人は、固定資産税係までご連絡ください。調査期間 昭和57年9月中旬から昭和58年1月中旬まで

対象家屋 昭和57年1月2日以降に異動のあった家屋

詳しくは、市税務課固定資産税係までお問い合わせください。
☎④21111内線2115

秋の行楽シーズンです

長距離のドライブは安全運転を心がけましょう

8月末までの 大洲市内の交通事故

	8月末 現在	昨年 同	年 期
件数	75	118	
負傷者	100	147	
死者	2	1	

保健センターだより

☎43775

乳幼児 健診



実施日 該当者

- 10月5日(火) 昭和57年6月生※
- 10月12日(火) 昭和57年3月生※
- 10月14日(木) 昭和56年3月生
- 10月19日(火) 昭和56年10月生※
- 10月26日(火) 昭和54年9月生

※肱南・肱北地区のみ

受付時間 13時30分~14時
 実施場所 大洲市保健センター
 持参品 母子健康手帳

胃の集団検診

がん検診車による胃の集団検診
 を次のように実施します。

実施日と場所
 10月5日(火) 蔵川中学校
 10月6日(水) 大川連絡所

実施日と場所

- 10月25日(月) 柳沢連絡所
- 10月26日(火) 蔵川中学校
- 10月27日(水) 大川連絡所

検診内容(一) 内は検診料
 子宮がん検診(七百元) 35歳以上
 乳がん検診(二百円) 18歳以上
 貧血検査、尿検査 血圧測定

(無料) 18歳以上
 受付時間 13時~14時

成人病の予防検診

(脳卒中予防検診)

実施日と場所(※は脳卒中予防)

- 10月1日(金) 上須戒連絡所 ※
- 10月6日(水) 三善連絡所
- 10月20日(水) 八多喜連絡所 ※
- 10月21日(木) ※
- 10月22日(金) 菅田連絡所 ※

受付時間 9時30分~11時、13時
 30分~15時(三善は13時~14時)
 検査内容 問診、結核検査、尿検査、
 血圧測定、貧血検査など。
 脳卒中予防検診はこの他に眼底
 検査、心電図、血液検査などを行
 います。食事は必ず検査の二時間
 前までにすませてください。
 検診料は無料です。

休日急患診療

10月3日 大洲中央病院
 10月10日 ☎4551

10月11日 市立大洲病院
 ☎2151

10月17日 大洲中央病院
 10月24日 ☎4551
 10月31日

まごころの おくりもの

- 金一封 菅田町 梶島 静
- 金一封 東大洲 高松まり子
- 金一封 五郎 窪 祥一
- 金一封(サマーチャリティパー
 ザールの収益金) 大洲青色申告
 青年部 部長 兵頭 勲
- 金一封(喜多地区社協と市社協
) 五郎 三瀬 利明

(物品の口座)
 衣料品 五十五点
 大洲青色申告青年部長 兵頭勲
 衣料品ボール箱四箱 歩行器一
 個 西大洲 匿名

温かい善意をありがとうござい
 ました。感謝をこめて掲載させて
 いただきます。
 大洲市社会福祉協議会

相談ごと案内

いずれも無料ですので、お気軽にご利用ください。

▶交通事故相談
 と き 10月8日 10時~15時
 10月20日
 と ころ 市民会館1階

▶人権相談
 と き 10月20日 13時~16時
 と ころ 社会福祉協議会事務局

▶心配ごと相談
 と き 10月1日 13時~16時
 10月12日
 10月25日
 と ころ 社会福祉協議会事務局

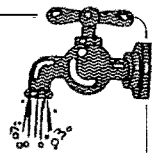
▶家庭児童相談
 と き 毎日の執務時間中
 と ころ 大洲市福祉事務所

▶行政相談
 と き 10月22日 10時~15時
 と ころ 中央公民館
 急がれる時は電話で相談して
 ください。☎43794(玉木)

▶社会保険相談
 と き 10月20日 10時~16時
 と ころ 大洲商工会議所
 担 当 松山社会保険事務所

▶不動産相談
 と き 10月15日 9時~16時
 と ころ 宅地建物取引業協会大
 洲支部(常磐町(株)フヂエダ内)

▶何でも相談
 と き 毎日の執務時間中
 と ころ
 大洲隣保館(東大洲☎46100)
 大洲福祉会館(新谷☎50947)
 相談内容 住民福祉に関し、生
 活上の悩み、人権、交通事故
 その他行政上悩み、苦情など。



休日の漏水修理

休日に漏水などで水道を利用
 されている市民のみなさんにご
 不便をおかけしてはいけないと
 大洲市管工事協同組合が交代で
 修理にあたっています。
 受付時間は、八時半から十七
 時までです。修理は有料です。

休日の漏水修理 (8:30~17:00)

月 日	当番業者	☎
10月3日	蔵田水道店	4-5968
10月10日	城戸電業社	5-2944
10月11日	久保水道店	6-0537
10月17日	佐藤水道店	4-4410
10月24日	清水水道商会	4-6232
10月31日	滝田商店	5-0901

後記

災害は忘れた頃にやってくる
 は、よく言ったものです。八月二
 十七日、市内各地で台風の影響で
 被害が出ました。
 日頃から、いざという時のため
 に準備をしておきたいものです。
 今月は、標高300mの大洲は、
 紙面の都合で休みます。(や)